

2013年7月14日 主日礼拝

プレイズ
奏 楽
賛 美 聖歌474番「世の波風いかにあれて」
(夕立のごと・570)(ハレルヤ!)

十 戒
聖 書 使徒行伝 20章31～38節
音 楽 オカムラ・ケン先生

メッセージ「両者、涙が止まらない」

大川従道牧師

賛 美 「主我を愛す」(讚美歌461・献金)
頌 栄 父と子と聖霊の聖名によって祈ります、賛美します
(祈ります、愛します。祈ります、ゆだねます アーメン)

祝 禱

暑中お見舞い申し上げます。
熱中症にならないよう工夫し、ご自愛下さい。
皆様の健康が守られますようお願いいたします。

伝道師大塚信頼・明子



畑の中の宝物

ジェムス・ムーディーという牧師のもとに、若い男性が近寄って言った。
「先生、ひどい知らせを聞きました。妻が末期ガンなのです。体全体に転移して、一ヶ月も生きられないそうです。この事実をどう受け入れてよいかわかりません」

ムーディー牧師は病院に駆けつけました。若い夫人は牧師に言いました。
「先生はメッセージで、『主にあっては、一日は千年のようであり、千年は一日のようである(Ⅱペテロ3の8)』とおっしゃいましたが本当ですか？神様には千年が一日のようで、一日が千年のようなのですか？」

「はい、聖書にはそう書いてあります」

「良かったです。計算してみたのですが、千年が一日のようならば、40年は一時間です。私は間もなく夫と子どもたちのそばを離れますが、夫はおそらく40年はまだ生きるでしょう。しかし、これは天国にいる私にとっては一時間です。夫が天国に来たら、このように言います。

『一時間、どこへ行っていたの？事務所に行ったか、家の仕事をしていたのでしょ？会いたかったわ』と。

子どもたちはさらに70年か80年生きるでしょう。けれども私には2時間にしか過ぎません。子どもたちが天国に来たらこのように言います。

『今日、学校はどうだった？たった数時間だったけれどもあなたたちに会いたかったわ。どうしていたか気になっていたの。母親は、自分の子どもたちと長い間離れていられないのよ』と。

2週間後、夫人は神様の元へ召されていきました。

夫人が夫に残した最後の言葉は次のようなものでした。

「感謝しています。そして愛しています。一時間後に会いましょう」

私が「感謝が習慣になる21日」を読んで心に残った話です。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:使徒18章～21章 Bコース:詩篇13篇～33篇

【町田ニュース】

- ・ 今日のお茶会は分かち合い。フォークダンスのご指導あり。楽しみましょう。
- ・ 火曜日は**早天祈禱会**で大塚伝道師が説教。お祈り下さい。
- ・ 祈禱会は水曜7時半と木10時半(Y)。説教は倉知副牧師。
- ・ 金曜日、準備祈禱会は夜9時(Y)。説教は丸藤補教師。
- ・ 土曜4～6時は「**リバイバル祈禱会**」。静かな祈りの時間。途中参加可。
- ・ いよいよ今週土曜日から「**夏のファミリーキャンプ**」。土曜日9時半に町田カルバリーに集合。10時出発。(現地集合の方は11時10分駐車場に集合)。熱中症対策のため、水筒、帽子、首に巻くタオルを忘れずに。
- ・ **来週**、キャンプのため**午前礼拝はお休み**。**午後礼拝に合流**します。
- ・ 来週25日は「**ほっとママの会**」、バーベQ大会です(ベビーシッター必要)。今月の伝道礼拝はお休みです。
- ・ 今週も通読表を用い、貪るように聖書を読みましょう。